

水道事業

令和3(2021)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	1,815	1,815	1,828	13	
	その他収入	51	51	100	49	・その他収入は、 受託事業の実施 及び一般会計から の負担金の増等により増
	計	1,866	1,866	1,928	62	
支 出	人件費	248	248	257	9	
	減価償却費	699	699	684	▲ 15	
	修繕費	186	186	126	▲ 60	
	その他支出	666	666	617	▲ 49	
	計	1,799	1,799	1,684	▲ 115	
経 常 損 益		67	67	244	177	

剰余金残高	1,534		1,952	418	
-------	-------	--	-------	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	0	0	0	
	その他収入	1	1	0	▲ 1	
	計	1	1	0	▲ 1	
支 出	建設改良費	468	468	402	▲ 66	・建設改良費は、 工事の進捗状況に 合わせて予算を翌 年度に繰り越した ため減
	借入金償還金	118	118	116	▲ 2	
	その他支出	8	8	0	▲ 8	
	計	594	594	518	▲ 76	
差 引		▲ 593	▲ 593	▲ 518	75	

借入金残高	362		364	2	
-------	-----	--	-----	---	--

経営指標による経営状況

	収益性				安全性		老朽化の状況		
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	料金回収率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率	管路経年化率	管路更新率
	・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	・営業活動の能力で、高いほど良好	・給水費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標	・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標	・法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合を表す指標	・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標
	(単位:%)								
平成29年度決算値	1.57	119.26	120.79	121.64	1,716.86	84.38	58.92	32.87	0.00
平成30年度決算値	1.27	115.27	117.31	118.23	3,351.55	87.12	57.66	37.99	0.00
令和元年度決算値	1.57	119.52	121.88	121.59	1,211.39	86.29	58.30	46.32	0.00
令和2年度決算値	1.14	113.66	115.92	116.97	1,271.30	87.74	57.18	46.32	0.00
令和3年度決算値	0.98	111.72	113.99	114.48	1,729.20	89.81	58.59	46.32	0.05
全国平均(令和2年度決算値)	—	102.33	110.77	111.13	284.45	77.92	57.50	30.30	0.32
説明	<p>大規模な設備更新がR2年度に終了し、減価償却費が増加したこと等により、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、料金回収率、経常収支比率の4指標は悪化したが、給水費用は料金収入によって賄えていることに加え、営業利益・経常利益とも確保できていることから経営状況は健全であるといえる。</p> <p>また、経営の安全性を示す流動比率、自己資本構成比率は、全国平均を上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では、償却資産の減価償却が約6割まで進んでいるが、日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでおり、特に問題はない。また、管路経年化率に対して管路更新率が低いですが、これについても、管路の劣化調査の結果や(公社)日本水道協会による研究結果等を基に標準使用年数(60年)を設定して更新することとしているため、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 料金回収率: 事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

水道事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 毎期、経常利益を確保し、健全な運営を確保します。
決算値	244百万円
評価	A
評価に係る説明	目標どおり経常利益を確保したため、A評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量(年間供給水量)	設備の故障等による 計画外給水停止件数	
目 標 値	R3年度 21,972千m ³	R3年度 0件	
実 績 値	R3年度 22,123千m ³	R3年度 0件	
評価	A	A	
評価に係る説明	目標を上回る年間供給水量を達成したため、A評価とした。	目標どおり、計画外給水停止を発生させなかったため、A評価とした。	

(2) 取組実績等

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶ろ過池原水弁更新工事(北那須) ▶急速攪拌機更新工事(鬼怒) ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3~R4、鬼怒) ▶無停電電源設備等更新工事(R2~R3、北那須) ▶No.1排泥池汚泥掻寄機更新工事(R2~R3、北那須) ▶貯蔵施設等資材倉庫設置工事(鬼怒) ○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路更新等調査検討業務委託(鬼怒) ▶管路施設耐震化等検討会の開催(7月、2月) <ul style="list-style-type: none"> ・管路施設耐震化のスケジュール案及び管路更新等調査検討業務委託(鬼怒)の中間報告 ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 ○実践的な防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練(地震)の実施(北那須:4、6月、鬼怒:6月) ▶受水市町等との共同防災訓練(北那須:12月、鬼怒:11月) ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶衛星携帯電話の導入(北那須、鬼怒) ▶災害用給水車の更新(北那須、鬼怒) ▶水道災害相互応援物資リストの提供(日本水道協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3~R4、鬼怒) ▶ろ過池原水弁更新工事(北那須) ▶薬品沈澱池(1系排泥)空気源作動弁更新工事(北那須) ▶2-1系薬品沈澱池フロキュレータ更新工事(北那須) ▶取水場油分検出装置更新工事(鬼怒) ▶点検の強化のため、ドローンを導入(北那須) ○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催 ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 ○実践的な防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練 ▶受水市町等との共同防災訓練 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練への参加 ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道災害相互応援物資リストの情報共有

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
水質管理の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画(※)によるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づき、適切に水質管理がされていたかの確認等を行う検証作業を実施(北那須:6月、鬼怒:5月) ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表(3月) ▶水質検査結果のHP公表(毎月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画の見直しによるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づき、適切に水質管理がされていたかの確認等を行う検証作業を実施 ▶水質管理の向上を図るため水安全計画レビュー作業部会を開催し、水安全計画の見直しを実施 ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表 ▶水質検査結果のHP公表(毎月)
経費削減や適切な料金設定等による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な料金設定の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶鬼怒水道用水供給事業(H30～R4)の料金見直しの結果、現行料金を据置き ○供給水量の維持・拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ▶受水市町における水道施設等の最適な利活用に係る協議・検討の実施(6月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な料金設定の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶北那須水道用水供給事業(R元～R5)の料金見直し作業に着手 ○供給水量の維持・拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ▶受水市町における水道施設等の最適な利活用に係る協議・検討

※ 水道水源から送水に至る全ての段階において危害評価と危害管理を行い、安全で安心な水の供給を確実にする水道システムを構築する手法

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶日本水道協会技術継承研修等の研修会への参加(4回、内Web2回) ▶職員の資格取得支援(電気主任技術者2名、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者1名、危険物取扱者1名) ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練時、管路施設GISを活用 ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道事業における業務計画の着実な推進に向け、当該計画の業務量に応じた電気職・機械職を確保するため、大卒程度のほか、令和2(2020)年度に再開した高卒程度の採用を継続 ▶必要となる人員が確実に確保できるよう、次の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工業系高校訪問による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR (高校訪問 6月8校、1月5校、3月1校) ・技術職現場見学会の実施(9/1 Web実施) ・電気職PR動画を作成しYouTubeでも公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶局内水道技術者研修会の開催 ▶日本水道協会技術継承研修等の研修会への参加 ▶職員の資格取得支援 ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設GISを活用した情報の共有 ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気職・機械職を確実に確保できるよう、大卒程度及び高卒程度の採用に加え、R5(2023)年度から社会人を対象とした採用等の実施に向けた協議の推進 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や工業系高校訪問による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR ・技術職現場見学会の実施 ・工業系高等学校のインターンシップ受入れ ・電気職PR動画のYouTube公開
長期的展望からの経営改革	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務の民間委託化の検討 ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道事業広域連携等検討会及びブロック別意見交換会に参加(5月、7月、11月、12月、2月、3月) <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業の現状及び将来見通し、施設の統廃合等について助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道事業広域連携等検討会及びブロック別意見交換会への参加

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
<p data-bbox="172 272 539 308">SDGs 達成への貢献</p>  <p>The image shows four SDG icons arranged in a 2x2 grid. Top-left: Target 6 (Clean Water and Sanitation) with a water tap icon. Top-right: Target 3 (Good Health and Well-being) with a heart and pulse line icon. Bottom-left: Target 7 (Affordable and Clean Energy) with a sun icon. Bottom-right: Target 13 (Climate Action) with a globe icon.</p>	<p data-bbox="539 201 1310 236">○安全・安心な水道用水の安定供給の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="539 236 1310 339">▶適正な施設の管理・運用による「人の健康と福祉」を確保するため、浄水場運転操作業務委託(R元～R3)を実施 <li data-bbox="539 339 1310 375">▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 <p data-bbox="539 411 1310 446">○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="539 446 1310 518">▶温室効果ガス削減のため、浄水場における太陽光発電を実施(北那須 発電電力量:54,054 kWh) <li data-bbox="539 518 1310 622">▶廃棄物排出抑制と資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用(北那須・鬼怒合計:760t) 	<p data-bbox="1310 201 2078 236">○安全・安心な水道用水の安定供給の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1310 236 2078 339">▶適正な施設の管理・運用による「人の健康と福祉」を確保するため、浄水場運転操作業務委託(R4～R6)を実施 <li data-bbox="1310 339 2078 375">▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 <p data-bbox="1310 411 2078 446">○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1310 446 2078 518">▶温室効果ガス削減のため、浄水場における太陽光発電を実施(北那須) <li data-bbox="1310 518 2078 622">▶再生可能エネルギーの導入のため、太陽光発電の増設・新設に向けた太陽光発電設備設計業務委託(北那須、鬼怒) <li data-bbox="1310 622 2078 694">▶廃棄物排出抑制と資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・目標どおり経常利益を確保した。		(2)事業の取組実績等 ・ろ過池原水弁更新工事を計画どおり実施した。 ・河川への油流出事故を想定した訓練や供給停止に伴う応急給水訓練を市町等と共同で実施した。 ・応急給水時に使用する給水車をタンク一体型へ更新した。 ・鬼怒水道用水供給事業の料金見直しの結果、現行料金を据え置くこととした。				評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・計画業務量は目標を上回り、計画外給水停止は目標どおり(0件)となった。						A
評価委員会の評価等						
<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、経常利益を確保し目標を達成できている。 ・事業面について、計画業務量及び計画外給水停止件数のどちらも目標を達成できている。 ・令和3年度の取組実績として、耐震化の推進をはじめとした強靱化が計画どおり進められているほか、給水車を更新することで応急復旧体制の強化が図られている。 						評価
						A
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	A					
評価委員会の評価	A					

今後の取組課題・改善点等						
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な水道水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事の実施や業務継続体制の強化等により、ハード・ソフト両面の強靱化に取り組む。 ・適切な料金設定等による経営基盤の強化や、デジタル技術等を活用した業務効率化などによる組織力強化に取り組む。 ・持続可能な社会の実現に向けて、水道事業を通じたSDGs達成に貢献する。 						

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,815	1,812	1,806	1,801	1,801
		当 初 予 算 額		1,815				
		決 算 額	1,826	1,828				
	そ の 他 収 入	計 画 額		51	58	57	52	52
		当 初 予 算 額		51				
		決 算 額	165	100				
支 出	人 件 費	計 画 額		248	243	239	237	233
		当 初 予 算 額		248				
		決 算 額	263	257				
	減 価 償 却 費	計 画 額		699	674	687	698	715
		当 初 予 算 額		699				
		決 算 額	667	684				
	修 繕 費	計 画 額		186	229	220	237	200
		当 初 予 算 額		186				
		決 算 額	191	126				
	そ の 他 支 出	計 画 額		666	702	643	627	645
		当 初 予 算 額		666				
		決 算 額	824	617				
経 常 損 益	計 画 額		67	22	74	54	60	
	当 初 予 算 額		67					
	決 算 額	46	244					
剰 余 金 残 高			1,466	1,952				

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		0	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		0				
		決 算 額	0	0				
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		1				
		決 算 額	1	0				
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		468	399	1,030	384	878
		当 初 予 算 額		468				
		決 算 額	871	402				
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		118	106	82	58	48
		当 初 予 算 額		118				
		決 算 額	126	116				
	そ の 他 支 出	計 画 額		8	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		8				
		決 算 額	8	0				
差 引	計 画 額		▲ 593	▲ 505	▲ 1,112	▲ 442	▲ 926	
	当 初 予 算 額		▲ 593					
	決 算 額	▲ 1,004	▲ 518					
借 入 金 残 高			480	364				

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	1.57	0.98				
営業収支比率	決算値	119.26	111.72				
料金回収率	決算値	120.79	113.99				
経常収支比率	決算値	121.64	114.48				
流動比率	決算値	1,716.86	1,729.20				
自己資本構成比率	決算値	84.38	89.81				
有形固定資産減価償却率	決算値	58.92	58.59				
管路経年化率	決算値	32.87	46.32				
管路更新率	決算値	0.00	0.05				

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
毎期、経常利益を確保	決算値		244				
	評価		A				

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給水量)	目標値		21,972千m ³	21,938千m ³	21,860千m ³	21,800千m ³	21,800千m ³
	実績値	22,389千m ³	22,123千m ³				
	評価		A				
設備の故障等による 計画外給水停止件数	目標値		0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件				
	評価		A				